

令和3年度 部活動指導計画

スポーツ庁作成運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン骨子（2018年4月改定）に基づく

1 学校経営方策にかかる共通確認事項

子どもたち一人ひとりの「秘めた力」を見つけ出すと共に活躍の場の創出及び豊かな心の育成を図る。（教職員と保護者、地域 関係者等が力を合わせる。）

2 部活動の考え方

本校の運動部、文化系部、クラブチーム、ダンススクール、エイサー等地域活動も大義的に捉える。（本校生徒が活躍している場면을重視 → 生涯学習の観点から部活動生のみの呼びかけ等は違和感があるため）。ただし顧問会の摘要は当面校内の部活動のみとする。

3 部活動等の良い点と改善点

(1) 良い点

- ①運動部活動は、学校教育の一環として行われ、我が国のスポーツ振興を支えてきた。
- ②体力や技能の向上を図る以外に、異年齢との交流の中で、生徒同士や教師等との人間関係の構築を図ったり、自己肯定感を高めたりする等、教育的意義が大きい。

(2) 改善点（現状の課題）

少子化の進展や社会・経済の変化等により、教育等に関わる課題が複雑化・多様化し、学校や教師だけで解決することができない課題も増え、運動部活動に関しても従前同様の体制では維持が難しく、学校や地域によっては存続の危機にある。

4 寄宮中部活動の基本方針について

将来において、生徒が各自のニーズに合ったスポーツ活動を行うことができ、生涯スポーツに親しむ基盤として運動部活動を持続可能なものとするためには、運動部活動の在り方の抜本的な改革に取り組む必要がある。

- (1) 部活動は、教育活動の一環であるという前提で指導する。
- (2) 顧問、部活動協力者、部員・保護者が連絡を密にしながら大人も子どもも加重負担にならないように共通理解のもとで、協力体制を確立していく。
- (3) 生徒と教師、生徒と生徒の共感的人間関係の構築を図る。
- (4) 部活動を通し、スポーツ精神を養いつつ、いかなる場所においても恥じない生活態度、マナーが身につくように指導する。
- (5) 家庭生活、学校・学級生活においては、自主的・自発的に活動に参加して他の生徒の模範となるように指導する。
- (6) 部活動顧問（副顧問含む）は、教職員の了解のもと校長が委嘱する。
- (7) 外部指導者及び部活動指導員は、学校長の承認を得て中体連への登録を行う。

5 重点実施事項について

- (1) 「時を守り、場を清め、礼を正す（TBR運動）」の充実
教育学者：森信三先生の提唱した職場再建の3原則

【時を守り】

時間を守る→相手を尊重する→自分が信用される。

具体的実践：予定の開始5分前に姿勢を正し、心を静め、開始を待つこと

【場を清め】

掃除をすること→5K 「気づく」「心を磨く」「謙虚になれる」「感動する心」「感謝の心」

具体的実践：毎日、人のために尽くす。ゴミを拾う 一つ拾えば一つだけきれいになる。

【礼を正す】

挨拶をすること、返事をする、挨拶→相手に心を開く→人間関係が良好になる。

具体的実践：挨拶は、人より先に相手が聞こえる大きな声で！

相手が気持ちよくなる挨拶をする。「おはようございます！」

呼ばれたら「ハイ！」→返事をすれば人間関係がよくなる

具体的実践：呼ばれたら、相手が聞こえる大きな声で、相手の気持ちがよくなる返事をする
打てば響くような「ハイ！」

- (2) **適切な活動時間** 活動日数は、MAX週5日まで
- ① 日曜休みパターン 月火木金土
 - ② 土曜休みパターン 月火木金日
 - ③ 土日休みパターン 月火木金
 - ④ 週3日パターン 月火木 火木金 平日2+土日のうち1
 - ⑤ 週2日パターン 月火 火木 火金 木金 平日1+土日のうち1
 - ⑥ 週1日
- ※ 毎月第3日曜は活動停止日、土日に大会の場合は、原則翌日の月曜日を休息日とする
- (3) 活動時間：平日90分～120分まで 休日2～3時間まで
短時間で成果を出す効果的な練習を！
- (4) 水曜日は部活動休養日（生徒の自己有用感、自治能力を高める活躍の場創出）
※夏休みや秋休み等の長期休業日は弾力的に運用する。
- (5) 早朝練習や時間延長は、必要に応じて認めるが両方を同日に行うことはできない。
※TBR運動+学力推進に係る実践が条件

6 部活動の組織

(1) 部活動指導は**部活動指導員が配置されるまでは**、本校の教諭で担当し、学校長が委嘱する。

(2) 部活動を円滑に行うために係り及び連絡会を置く。

①教師の係

部活動主任	1名
会 計	1名
各部指導教師（顧問1名、副顧問1～2名）	
コーチ（校長に委嘱された期間）	

②生徒の係

部長会議議長・副議長	各1名
部長会議記録	1名
各部の部長・副部長	各部毎に各1名

③保護者の係

部活動育成会、会長（1名）・副会長（2名）
各部保護者代表（保護者会会長・副会長）

④部の継続・新設・廃止に関しては、部活動教師及び生徒の実態や活動の状況等について職員会議で検討し、決定する。

7 部活動計画

(1) 活動日

- ①活動日は月曜日～金曜日とする。水曜日を休養日と設定する。
- ②土・日曜日、祝祭日は原則として活動は行わない。ただし、顧問教師の指導の元での活動であればその限りではない。土日に大会の場合は、原則翌日の月曜日を休息日とする
- ③第3日曜日（家庭の日）の活動は行わない。
- ④春・夏・秋・冬期休暇中の練習は部活動顧問会をもって計画立案し、学校長の許可を得て活動する。
- ⑤原則としてテスト1週間前から練習は行わない。
（部活動顧問会をもって計画立案する場合もある）
※4教科（技能教科）はテスト休みを3日前からとする。（土日も含む）
- ⑥活動日及び活動時間以外に活動を行う場合は、各部員の保護者から承諾書を得て、学校長に許可願い書を提出し、活動することができる。その場合、部活動主任に報告する。
 - 練習時間を延長する場合（練習時間延長願い書）※延長時間は原則30分以内とする。
 - 部活動延長練習は、中体連主催・共催の大会1ヶ月前から申請できるものとする。

○早朝練習を行う場合（早朝練習許可願い書）

○テスト期間中に練習を行う場合（停止期間中練習許可願い書）※大会2週間前から。

(2) 活動時間

① 1日の活動時間

【夏期】	4月～9月	午後6時45分終了	下校完了	午後7時
【秋・春期】	10・2～3月	午後6時15分終了	下校完了	午後6時30分
【冬期】	11月～1月	午後6時終了	下校完了	午後6時15分

②活動の時間については学級活動、生徒会活動の時間を優先する。なお、時間を守らない部については、活動停止もありうる。

4月、10月、11月に部活動交代制で下校アナウンスを行う。（長期休業については各顧問）

8 部活動費（年間活動費）

(1) 部活動費は原則として加入者負担とし年間活動費を徴収するが、活動の一部をPTAからの補助により補う。（活動費の徴収詳細は以下の通り）

① 1・2年生（年間） 5,000円

② 3年生（年間） 3,000円

※部活動費の10%は部活動運営費となり、90%が各部活動の部費となる。（製氷機レンタル代金も含む）

③途中入部者はその時点から月額500円を徴収する。

④退部者への払い戻しはしない。

⑤途中で部活動を変更する場合は、前部活動から新部活動へ徴収金を移行する。

（その際の残りの活動費は月額300円を目安とする）

(2) 部活動費納入方法

①部活動への入部時に、部活動顧問へ納入する。（原則として保護者が納入すること）

②未納者の生徒は6月中に部活動顧問に納入する。

(3) 部活動補助費について

PTAからの補助を受けて活動を行う（年間チーム登録料・大会参加費・派遣費の一部）

(4) 大会参加費及び派遣費について

①県内（本島）大会の参加費及び派遣費については、部活動育成補助費を充てる。

②離島及び県外大会への参加及び派遣については別途予算とする。

9 部活動の心得

(1) 顧問（指導教師）の指導ならびに、他の先生方の指導を素直に受ける。

(2) 部長は常に顧問（指導教師）と連絡を取り、午前中に練習の有無を確認する。練習や練習試合などは、相談のうえ決定する。

(3) 活動の際は、常に安全に気を配って活動する。

(4) 保健室を利用した生徒は、養護教諭・顧問（指導教師）の許可を得て活動する。

(5) 生徒同士でミーティングを行う場合は、事前に顧問（指導教師）から話す内容・方法の指導を仰いで行う。

(6) 学習態度や服装・身なりをきちんと整えるとともに、時間にけじめをつける。

(7) 先生方や来客への挨拶は気持ちよく行い、言葉づかいには十分に気をつける。

(8) 動作を機敏にして、登下校の時間を厳守し、寄り道などは絶対にしない。

(9) 「買い食い」は理由の如何に関わらず絶対にしない。（必要以外の金銭を持たない）

(10) 部活動で使用している場所は、毎日清掃片付けを行い、学習用具などは絶対に置かない。（使用した道具類の後片付けも責任を持って行うこと。）

(11) 家庭や学級での役割を自覚して、積極的に協力して行動する。（部活動はその後に行う。）

(12) 休日においては、部活動に合った服装で登校する（自転車での登校は絶対にしない。）

(13) 部活動生への放送がある場合は、ただちに活動をやめ、放送に注目する。

(14) 部活動内で、トラブルが発生した場合には、必ず顧問又は他の先生に伝える。

(15) いつでも寄宮中学校の生徒として、誇りと自信を持って行動する。

